

# コミュニティ・スクール通信



～地域とともにある学校へ～

平成30年6月  
千歳市教育委員会

第3号

## 1 千歳市コミュニティ・スクール促進協議会

千歳市におけるコミュニティ・スクール（CS）の普及促進を図るため千歳市CS促進協議会を設置し、研修や協議を行っています。さる6月15日、市内各校の校長、市教委担当者で第1回のCS促進協議会を開催しました。CSの導入や充実・改善に向けた調査研究を行う指定校の取組を青葉中・小笠原校長、高台小・大久保校長、駒里小中・辻崎校長より発表後、質疑を行いました。自校への導入を想定した様々な角度からの具体的な意見交換がなされました。



## 2 調査研究指定校の取組状況

CS調査研究指定校、教育委員会関係各課で、5月24日、昨年度からここまでの取組状況について、交流を行いました。以下の内容を、上記のCS促進協議会でも発表して頂きました。

### ○高台小学校（協議会委員13名）

- ・ミシンの学習支援として町内会から6～7人来校。各グループに一人ずつサポートが入り、担任がとても助かった。1年生の昔遊び体験では地域の方々が20名ほど来校。楽しんで下さり、双方によい取組だった。
- ・放課後計算塾では〇つけ、採点業務をしていただき、その間教師は指導に専念できた。
- ・双方向の発信を心がける。地域として参加してほしい行事の案内をもらって学校から発信する。CSだよりでは、多くの方に参加してもらえよう、学校ではこの時期にこれをやるというものを事前に地域にお知らせする。

### ○青葉中学校（協議会委員15名）

- ・家庭学習ボランティアの取組では、毎日地域の方に家庭学習の点検をしてもらうことで学習内容を知って頂くいい機会となった。ゴミバスターズクラブの取組では保育所も参加。生徒が幼児に教えながらゴミ拾いのボランティア活動ができた。
- ・避難所運営訓練は今後総合的な学習の中で、できれば3町内会に3年に一度ずつ関わって頂き、続けていきたい。それらの取組を除雪ボランティアなどにつなげたい。
- ・協議会を3回開催。3回目は学校評価部分の色合いを濃くした。今年度は学校支援の部分と学校評価が大きな柱。実際に支援して頂ける方を中心とする組織作りが課題。
- ・地域のCSに対する認知度が広まり

つつある。児童館から「中学生に手伝ってもらいたい」とか「CSですね」と声をかけてもらえる。

### ○駒里小中（協議会委員 自治会・PTA・学校より選出）

- ・運営組織と校内体制では3部会構成を検討中。第1回目の集まりで、学校運営協議会に移行していく説明をする予定。2回目では駒里にとって大きな行事であるお祭りについて、3回目では学校評価を想定。駒里連合会、未来の駒里を考える会も運営に参加してもらう予定。そもそも小中の運動会、学芸会などに保育所も普通に参加する地域。幼・小・中は連携というより一体化している。学校の取組に対する地域の支援は手厚い。

